

ふるさと探訪

気づき・月づ期・思いつ記

「小道・近道・回り道」

ミチ・みち・道・路・途・径そして道路・ロードなど、様々な道を行き来する生活の中でも、やはり懐かしくて慕わしくて忘れられないのは通学路の思い出ではなからうか。

小道……一九三九年（昭和十四）といえは第一次世界大戦が始まった年であるが、今や懐メロの「誰か故郷を思わざる」の流行と共に童謡「仲よし小道」が三苦やし作詩・河村光陽作曲によって発表された年



でもある。

(1) 仲よし小道は どの道

いつも学校へ みよちゃんトランドセル背負って元気よく

お歌をうたって 通う道

(2) 仲よし小道の 小川には

とんとん坂橋 かけてある
仲よく並んで 腰かけて

お話しするのよ たのしいな

と続き、(4) 仲よし小道の、日ぐれには母が家と呼んでいるのでさよならまた明日と、お手々ふりふりさようならするのである。

さて、ランドセルを背負った覚えもないが、「道草を食う腕白仲間」が春夏秋冬の「旬の遊び」に駆け回った小道と小路と小径を振り返ってみると、

馬糞け散らし、荒縄二人三脚、フキノトウぶつけ、露の水車、笹舟競走、じゃんけん遊び、カンけり、輪投げ、石けり、助け鬼、ヒンツリ、双六、かけっこ等々の正に道草の小

道で、また北の冬道はツララ、雪玉、竹スキー、そして小路・細道・裏通りでのパッチ遊びに興じた小道でもあった。登下校の途中で。

近道……号と線が暮盤の目のふるさと東川の通学路を「斜め横断」した近道の雪道、雪道は近道の実体験でもあった。

近道は「よその田・畑・庭・空き地をちよつと失礼」で、とにかく曲がり角を少なくして、斜めまっすぐの近道を作ったのである。

排水溝や段差のある場所には雪を踏み固めて蓬や笹の茎を立てたり、田んぼの真ん中などには小枝に赤い布をつけたりして近道を歩いた。みんなが……。

堅雪も終わり、雪解けが近づくと「ころあい」を見計らって、「ずぶずぶぬかっけもう駄目だ。」となつて、いつともなく通行禁止になったのも近道だった。

そういえば、吹雪の夜の回覧板で近道をした帰路に、懐中電灯の電池がアウト。寒い・冷たい・暗くて判らない。半べそをかきながらやっと家にたどり着いた時、「近道しなくて良かった。」と言った変な「嘘から出た誠」が思い出される。

回り道……「三角形の一边は他の二片より短い」ことは承知していても、時には「急がば回れ」で、遠回りになる道を通る必要もある。

道路工事の迂回路や横断歩道はもろろのこと、暗い通りや危険な場所には近寄らずに、明るい通りや安全な場所を回り道することは当然である。

にもかかわらず、悲しいことに声をかけたり、連れ添ったりすると「変な人」呼ばわりにされる現在なのである。

小道・近道・回り道にも、登下校の通学路には真正正銘の「おたすけマン」や「駆け込みハウス」に「子ども一〇番」が絶対不可欠で、今や更に地域の子は地域で守る時代となった。

小路・山道・田んぼ道のおおらかさやのんびりさが吹っ飛んでしまった通学路に、安心・安全・安泰を取り戻す地域ぐるみの自衛とは、さて……。

(元) 郷土史編集専門員
尾池隆 男

人口 / 7,694人(前月比 3人) 男 / 3,690人(前月比 2人) 女 / 4,004人(前月比 1人)
世帯数 / 3,021戸(前月比2戸) 出生 / 1人、死亡 / 7人、転入 / 26人、転出 / 23人 【12月31日現在】
住民登録の手続き上、人口増減と出生・死亡・転入・転出の増減は一致しないことがあります。



本誌の印刷には、大豆インクを使用しています。
また用紙には再生紙(100%)を使用しています。